



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉

2020年03月02日 第959号「週刊五十嵐レポート」

千載一遇の好機

中国語の先生から中国古代からの教えを聞いた。日本語訳「中国の歴史は証明している。疫病は大雪(12/7)に始まり、冬至(12/22)に発して、小寒(1/5)で生まれ、大寒(1/20)に長じ、立春(2/5)に盛り、雨水(2/19)に弱まり、啓蟄(けいちつ)(3/5)に衰える。千年もの間、中国の疫病は始まりから終わりまでこういう規則になっている。みんな家にじっとしていよう、3月5日になったら封鎖が解除され、外に出て太陽や青空、大地の美しい光景を抱きしめよう」。

中国古代の教えによると、啓蟄は3月5日～20日(春分の前日)まで。そのころまでに中国の新型コロナウイルスは衰退していくだろうと。さて日本は、中国から飛び火して約1ヶ月遅れぐらい。今(3月初旬)がピーク(盛)。この2週間が勝負時。4月初旬には衰退してもらいたい。

2月29日付、日経新聞の大機小機は、「新型コロナ、リーマン級だが一過性」。日本経済に影響を及ぼすのは3つ。1つは、サービス輸出の減少。外国人観光客の消費はサービスの輸出。観光業、商業施設。2つ目は、財の輸出の減少。中国の生産が止まったら世界の供給網全体が目詰まりを起こす。3つ目は、不要不急の外出の自粛。経済活動の萎縮。以上を総合するとコロナの衝撃はリーマンショック並み。但し一過性。V字回復が可能。

思い出すが、松下幸之助氏の言葉。「多少ヒマになることも長い間にはあるのが当然。失敗している人を見るとあわてて他に仕事を求めています。こういう時期には仕事がないのが原則。行き詰まる会社を見てみますとヒマになったらうろたえて、ムリをしてでも注文を取ろうとします。安くなります。かえって大きな損をして会社の破綻を招く結果になります。ヒマはヒマで仕方がない。一時的な現象なのだから、この機会に改めるべきは改めて、日頃怠りがちな得意先に対するサービスをしたり、機械の手入れをする。このような企業はかえって時を得て発展するという姿になっているのです」。

財務体質が脆弱な企業はこのような時に消えていく。日頃コツコツと経営戦略を学び実践を積み重ねた企業はこのような時こそ発展の千載一遇の好機(チャンス)。ホップ・ステップ・ジャンプのための屈む時。

ちょっと
気をつける出来事

昨年、中国視察で会い合った通訳との最近のメール。

2月14日「私は武漢市で大学時代を送っていました。まさに第二のふるさとしてこの都市がこんな厳しい状況にあわれたとは、本当に心痛いです。今は実家の広東省におりまして、それほど嚴重ではございません。なお、政府の呼びかけに応じ、今は外出を控えております。いまさらですが、普段何気なく外に出たり、友達と遊んだりすることはこんなに贅沢なんだと、しみじみと感じております」

3月1日「昨日、一ヶ月ぶりに外出しました。ようやく外に出られて、人影が見られる町、魚を釣る人々が集まる川を見て、なぜか不思議に感動しました。口で訳す、いわゆる通訳の仕事がないですが、文字で訳す、つまり翻訳の仕事がちょこちょこ入っております。一ヶ月前、第二ふるさとの武漢はそんな目に遭われ、心が痛んでいたが、日本の方々からたくさんの応援を頂きました。すごく感謝しております。ただ、今はまさか日本でも深刻な事態になったとは想像もしませんでした」

1ヶ月外に出られなかったんですね。中国の徹底ぶり。日本はこの2週間。ある意味で国が一つになるとき。



一口メモ
知識

いま何をやっているか

「行為」と「結果」は、宇宙の法則です。

「行為」が先で、「結果」は後に出ます。

「いま」というのは、いつでも「過去」の結果です。

それは、すでに結果が出てしまったことです。

だから、悩む必要はないのです。

いま何をやっているかによって、次の結果が出ます。

つねに「いま」、いいことをやっておけば、次はいい結果が出るのです。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スmanaサーラ)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時～6時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

